

# 証券市場新聞

1 第164号

日経平均株価  
2万0773円56銭  
▲198円93銭(前日比)  
TOPIX  
1566.10  
▲13.50(前日比)

2019  
1/28  
月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社  
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C  
TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861  
marketpress.jp



## 強さ光る関西系電鉄株

### 万博に向け梅田乗り入れや夢洲延伸



南海の関空特急ラピート

南海の関空特急ラピートは、2020年の東京五輪へ向けた再開発の効果が株価には織り込まれてきた。関西系に2025年の大阪万博へ向けた整備は、これからの期待が株

この期待が株価を押し上げる。南海電鉄は、大阪万博に向けた整備は、これからの期待が株価を押し上げる。南海電鉄は、大阪万博に向けた整備は、これからの期待が株価を押し上げる。

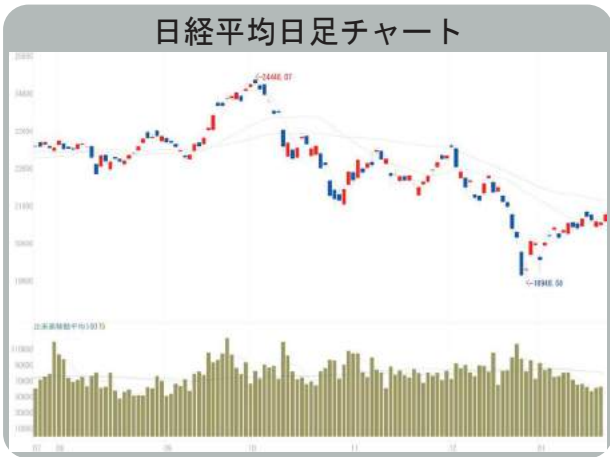
昨年末以降、南海電鉄(9044)が12月25日の安値2673円を底に早々に25日移動平均線を突破し、3000円台を回復、近鉄グループホールディング

も12月25日の470円を底に急伸し、1月7日には昨年高値4980円を付けるなど関西地域の電鉄はひと際光る動きとなっている。

今宮駅から「なにわ筋線」を経由して梅田へ乗り入れている。この構想では新

### 多角化で業績拡大期待

昨年末からの波乱相場の中で底堅さを見せたのが電鉄株だ。米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などを受けてグローバル企業には業績悪化への懸念が付きまとうが、主要都市のインフラを担う電鉄は好不況にかかわらず収益が安定し、近年ではホテルや百貨店などをグループ企業で経営し、多角化による業績拡大期待も高い。そのなかでも2025年の大阪万博開催に向けてインフラ整備が活発化する関西系の値動きはよく、地味な存在ながらディフェンシブ系の筆頭として注目できそうだ。



る一因に、南海電鉄については、大阪市中心部から関西国際空港(関空)への鉄道アクセスを強化する新線「なにわ筋線」構想が大きい。この構想では新

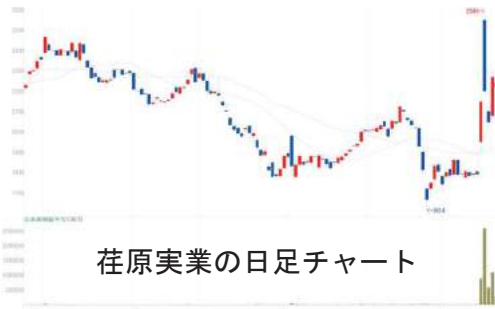
貌する期待がある。一方、近鉄も万博会場となる大阪湾の人工島・夢洲へ「奈良く夢洲」直通特急を走行させる構想が伝えられた。近鉄は既に阪急阪神ホールディングス(9042)傘下の阪神電鉄の三ノ宮駅まで特急を乗り入れており、東西縦断鉄道としての存在感を高める期待がある。京阪ホールディングス(9045)の京阪電鉄も中之島線の夢洲延伸計画がある。

今週の動意銘柄

クミアイ化学はS高

前期計画超過し今期も増益

週明け21日、荏原実業(6328)が急伸、一時ストップ高まで買われた。一部報道で「アンモニア」の新しい合成法を、九州工業大学院生命体工学研究所の春山哲也教授が開発したと伝わったこと、思惑買いを集めた。水と空気だけを材料にする簡易的な方法で、化石燃料を使用する従来の製



荏原実業の日足チャート

今週の動意銘柄

Y Drug Store

が急落。19年6月の連結業績予想について、売上高を100億円から1050億円(前期比10.7%増)へ、営業利益を50億円から43億円(同4.2%増)へ下方修正した。売上高減少に加え、正社員・パートの待遇改善などによる人件費の増加などが圧迫している。

ナガオカ連続S高

21日、ナガオカ(6239)が前週末に続いてストップ高。17日引け後、大口のスクリーン・インターナルを受注したと発表されたことが引き続いた。欧州のプロピレン・プラントの新設計画向けで、受注金額は約14億4700万円で、業績へのインパクトが大きい。

正直いいさんの株で大判小判

25日の東京市場は反発、日経平均は後場から上げ幅を拡げました。NYダウは小幅安でしたが、半導体関連株が買われナスダックが上昇したことから、東京市場にもハイテク株見直しの流れが波及しました。109円台後半に進んだ円安や上り叩かれて上がったこと、海株高もフォローで、アップルショックで売った半導体関連が値を上げています。週明け00円を目指すが、週明けから本格化する政府機関の閉鎖が続くすれば、売られた場面重な投資を続けたいと思います。

押し目買いのタイミング待ち

ピックアップ銘柄のハリマ化成(4410)、ソーネクスト(4344)は決算発表日程をにらみ、押し目買いのタイミング待ち。花咲翁



モーゲージ増配と株優

22日、日本モーゲージサービス(7192)がストップ高。19年3月期の期末一括配当を10円から35円(前期8円)に引き上げ、同時にQOカードの贈呈金額で100株未満で1000円から3000円へ引き上げる優待拡

富士ソフトSB誤請求

22日、富士ソフトサービスビューロ(6188)はストップ高。一部誤請求が発生した可能性があることが判明、社内調査委員会を設置と発表したことを受け、業績への影響を懸念した売りが殺到した。2月8日に調査報告をする予定で、6日の決算発表は14日

JDI資本提携報道

23日、ジャパンプレイ(6740)が値を飛ばした。米ウォールストリート・ジャーナルが、台湾のタッチパネル部品製造のTPKHホールディングスと中国の国有ファンドのシルクロード・ファンドと資本提携交渉

SUBARU操業停止

23日、SUBARU(7270)が急落。16日から、国内唯一の完成車工

場である群馬製作所の操業を停止していることが報じられたことを受け、部品メーカーから調達している主要部品に不具合が見つかったことが要因で、原因の調査が進まないことから部品の供給が滞っているとされている。

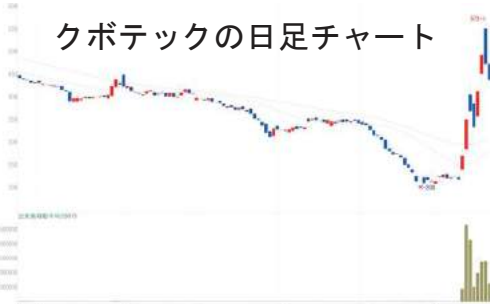


# クボテック連続S高

## 信用残、日証金残とも厚み増す

クボテックは23日、09(77)が連日で高値を叩き出した。短期資金の攻勢が続き、信用・貸株規制が逆に買戻しを急がせた。18日現在の信用倍率は0.81倍と売り超過で、22日申し込みに厚みが増している。

クボテックの日足チャート



し込み現在の貸借倍率も0.37倍と大幅な貸株超過、信用残、日証金残ともに厚みが増している。

# KABU.COM 出資報道

24日、カブドットコム証券(8703)がストップ高。日本経済新聞でKDDI(9433)がカブドットコム証券に出資する方向で調整に入ったと報じたことが材料視された。「出資額は最大1000億円規模に達する可能性がある。出資比率は5割弱になる見通し」とし、KDD

Iはネット証券への出資によって、金融サービスの収益源化を急ぐという。報道を受けて東証は売買を一時中止した。

## クエストは最高値

24日、クエスト(2332)が急伸、最高値を更新した。19年3月期の単体業績予想について、売上高を91億円か

## ラクオリアはカバレッジ

24日、ラクオリア創業(4579)がストップ高。みずほ証券が投資判断「買い」、目標株価1700円でカバレッジを開始した。動物薬を中心としたロイヤルティ収入などにより19年12月期に設立後初の黒字化の確度が高まったことに加え、胃食道逆流症治療薬テゴプラザンの韓国・中国市場での成長性を積極的に評価する転換期に入ったとしている。

ら94億5000万円(前期比8.3%増)へ、営業利益を4億5600万円から6億1000万円(同8倍)へ上方修正した。主要顧客(エレクトロニクス関連)、公共分野(エネルギー)顧客、金融分野(銀行)顧客からの新規案件の獲得に加えて、プロジェクトマネジメント強化による不採算案件の抑制も寄与する。

## 大森屋 新製品

熱い支持を集めるノーベル製菓とのコラボ商品第3弾!

# 目にも鮮やかな「男梅混ぜご飯」参上!



新商品!

### 男梅混ぜご飯

おにぎりに最高!



### おすすめポイント

- ① 濃厚な梅干し本来の旨さを楽しむ食べごたえ。
- ② 男梅ならではのガツンとしたしょっぱさ。
- ③ 梅らしい彩りで華やかな混ぜご飯が完成。

# 半導体関連軒並み高

## 米SOX5.7%高と急反発

週末25日、東京エレクトロン(8035)、アドバンテクト(6857)の半導体製造装置やS U M C O ( 3 4 3 6 )、信越化学工業(4063)のシリコンウエハー大手など、半導体関連銘柄が軒並み高。前日の米国株

### 今週の動意銘柄

市場で好決算発表のザイリンクスが18%高、ラムリサーチやアプライドマテリアルなども大幅高に買われ、SOX指数が5.7%高と急反発した流れが、東京市場にも波及した。インテルの決算はコセンサスに届かず、

時間外で売られたが、ネガティブ視する向きは限られ、関連銘柄全般にショートカバーが本格化した。

25日、日本通信(9424)が急伸。金融庁の「FinTEch実証実験ハブ」に選定されたスマートフォンでの安心・安心な金融取引に係る実証実験の結果を好感した。

### 日本通信実験を好感

## 売買代金の増加が鍵

## 転ばぬ先のテクニカル

先週の東京株式市場は売買代金2兆円割れが続く閑散な取引に終始しましたが、週末25日に半導体関連銘柄を中心に買われ、3週続伸となりました。NY市場の取引終了後に発表されたインテルの決算では先行き冴えない見通しを公表。時間外取引でインテル株が急落していたことで、インテルショックに身構えての取引開始となりましたが、悪材料出尽くし感から逆に買われ、日経平均は上伸。

更に上値を取るためには売買代金が増加するのかが重要であり、また、現物株を10週連続売り越している海外投資家が買い越しに転じ、カラカラ状態の裁定取引買い残の積み上がりが必要です。昨年10月以降の急落場面では2万1000円台での累積出来高が高水準であったことから、日々の売買代金は少なくとも2兆5000億円は必要でしょう。

日々勇太郎



## 2月2日(土) 創刊3周年記念株式セミナー in大阪

主催：(株)証券市場新聞社 申込はTEL06-6105-1904またはinfo@marketpress.jp まで！

2019年2月2日(土) 14:00~16:30 受付・開場13:00 参加料:無料 定員:30名

### 大化け特選3銘柄を教えます！

数々の株式コンテストで優勝した岡山憲史さんが登壇



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表)1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」約1万人の参加者の中から優勝のほか、多くのコンテストで優勝。1カ月間の3銘柄合計パフォーマンス155%と断トツ。週刊現代や週刊ポスト、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行い、個人投資家に投資情報サービスを提供。

### コラム「転ばぬ先のテクニカル」でお馴染み日々勇太郎さんも登壇

田島直人氏 国際テクニカルアナリスト連盟認定テクニカルアナリストで、現在高木証券資産アドバイザー、今年3月に独立系ファイナンシャルアドバイザーとしてIFA(金融商品仲介業者)を立ち上げの予定。

第1部 14:00~14:50 「転ばぬ先のテクニカル」日々勇太郎こと田島直人さんによるテクニカル解説

第2部 15:00~16:30 「乱高下の中で誰にでもできる投資テクニック」岡山 憲史さんによる株式講演会

会場：D-SPOT-COM長堀セミナールーム

大阪市中央区南船場2丁目3-6第一住建長堀橋駅前ビル1階  
【TEL】06-6105-1904

堺筋線・長堀鶴見緑地線長堀橋駅 2-B出口 徒歩1分  
御堂筋線心斎橋駅 クリスタ長堀経由 徒歩5分



\*セミナー参加者全員にマーケットバンク発行のカレント経済ノート「主要経済指標」2019年版(定価1,000円)をプレゼント!



## 潮流

## 投資家不在の株式市場

## AIによる自動売買の弊害

marKet / bAnk



人が指図せずに機械的に自動運用されている資金は、17年に約17兆ドル(約1800兆円)となった。世界の運用総額に占めるシェアは約21%となる。現在は2000兆円規模に達した可能性があるという。

テクノロジーの発展で市場の自動売買は急速に進む。一方、人工知能(AI)は人による分析や検証が不可能なブラックボックス化の問題をはらむ。18年12月の1日あたりの変動率は過去最高となった。AIを使った自動売買ではこうした乱高下が当たり前のようになる。

米ゴールドマン・サックスは世界約4万人の従業員のうち、約4分の1がエンジニアだ。売買を約定させるプログラムに株価予測の人工知能(AI)を組み込んでおり、これが戦略の核になっているという。アナリストが企業を訪問して経営者に取材して投資判断を行うようなことはない。投資というよりデータ・サイエンスの世界だ。

米国のデータセンターに売上高や利益、株価など世界2万社のデータを蓄積する。数理分析モデルは、このデータを分析し、株価の割安・割高を判断する。昼夜稼働して、世界各地に売買を指示する。また、米国で急成長しているETFが

人が指図せずに機械的に自動運用されている資金は、17年に約17兆ドル(約1800兆

円)となった。世界の運用総額に占めるシェアは約21%となる。現在は2000兆円規模に達した可能性があるという。

テクノロジーの発展で市場の自動売買は急速に進む。一方、人工知能(AI)は人による分析や検証が不可能なブラックボックス化の問題をはらむ。18年12月の1日あたりの変動率は過去最高となった。AIを使った自動売買ではこうした乱高下が当たり前のようになる。

米ゴールドマン・サックスは世界約4万人の従業員のうち、約4分の1がエンジニアだ。売買を約定させるプログラムに株価予測の人工知能(AI)を組み込んでおり、これが戦略の核になっているという。アナリストが企業を訪問して経営者に取材して投資判断を行うようなことはない。投資というよりデータ・サイエンスの世界だ。

米国のデータセンターに売上高や利益、株価など世界2万社のデータを蓄積する。数理分析モデルは、このデータを分析し、株価の割安・割高を判断する。昼夜稼働して、世界各地に売買を指示する。また、米国で急成長しているETFが

「iシェアーズ エッジMSCI米国モメンタム・ファクターETF」だ。2018年末時点の純資産は約79億ドル(約8500億円)と5年前と比べて40倍に膨らんだ。

モメンタム(勢い)の名前の通り、株価の勢いに自動で追従し、銘柄を入れ替える。こうした投資手法は「モメンタム運用」と呼ばれ、かつては数理分析を駆使するヘッジファンドなどの得意分野だった。ETFとなったことで、誰でも投資可能になり規模が拡大した。急落と急上昇を繰り返した年末年始の株式相場のように株価の振幅を大きくする要因となっている。

世界の先物商品などに投資する商品投資顧問(CTA)世界最大手のマン・グループは「トレンド・フォロー」と呼ばれる相場の勢いに追従する戦略が売り物だ。運用を決めるのは値動きの方向性と、変動率だ。約1100億ドル(約12兆円)の運用資金が自動売買される。各社のエンジニア独自のアルゴシステム運用が株式市場を支配し、投資家不在となる現状が良い筈がない。

潮流銘柄はベルトラ(7048)、アルヒ(7198)、エコモット(3987)。

ら優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

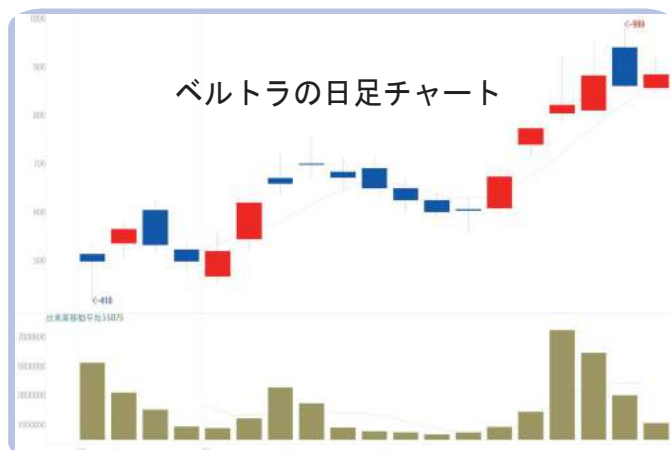


岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から

世界運用総額の21%に

ベルトラの日足チャート



# チャート から読む 騰落銘柄

## サイバーダイн(7779)



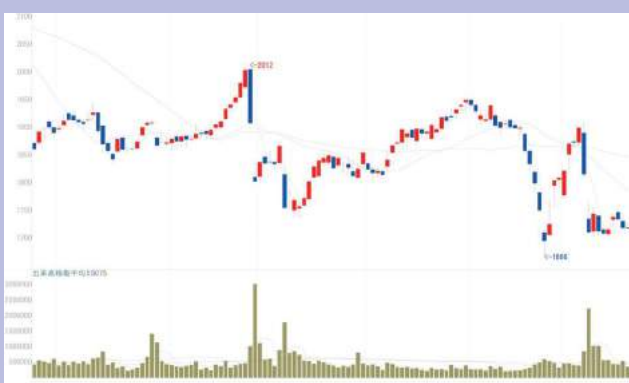
昨年12月25日安値449円を底に上昇基調が続く。50日線を抜ければ11月の揉み合いゾーンである800円台を目指す動きを期待。ロボットスーツ「HAL」は医療向けなどの好調が続く。

## くふうカンパニー(4399)



25日移動平均を下値支持ラインに着実に下値を切り上げる。再び鋭角的な右肩上がりで転じた5日線をフォローに噴き値局面に近い。上場初日に付けた高値1109円奪回から一段高へ。

## 吉野家HD(9861)



9期ぶりの第3四半期赤字転落を受けて、12月25日の昨年来安値1666円更新後も底這い状態が続く。この安値を下回れば、17年4月3日の1558円、その先は16年6月24日の1300円が意識。

## ペッパーフード(3053)



戻り試すも25日線に跳ね返され、再び下値を模索。急降下に転じた5日線に上値を抑えられ、連日で昨年来安値を更新する。月足も陰転の方向にあり、大勢トレンド入りなら下げ足加速も。

※チャートは日足

今週の

# 活躍期待銘柄



## 東宝 (9602)

### 来期大幅増益転換に期待

東宝(9602)の株価は昨年12月25日の3600円を底に上昇、1月7日に4240円の昨年来高値更新後も底堅い動きが継続している。25日線に接近したところは押し目買いの好機と捉えたい。今19年2月期は前期収益に貢献した「シン・ゴジラ」や「君の名は。」の二次利用収入の反動減などから通期連結営業利益で400億円(前期比15・9%減)と減益の見通しながら、「ゴジラキング・オブ・モンスターズ」と「名探偵ピカチュウ」という海外展開でビッグタイトルの控えていることから、来期は大幅な増益転換が期待される。

2020年夏のオープン予定の「TOHOシネマズ池袋」や再開発に着手予定の「東宝ツインタワービル(東京日比谷)」の貢献も期待されており、中長期的にも成長が続く(と)

### 海外ビッグタイトル控える



## ネクステージ (3186)

### 連続最高業績も最低ライン

ネクステージ(3186)は好業績見通し発表を機に水準を切り上げ、実質最高値1356円奪回へ向かってきた。東海北陸地方を地盤とする中古車販売店で、販売・整備・車検・中古車買取をワンストップで提供するトータルサービスで高成長、年率30%を上回る売り上げ増が続き、先行投資負担を吸収して利益も急拡大している。19年11月期は連結売上高2150億円(前期比31・8%増)、営業利益57億円(同30・0%増)と連続最高業績更新を見込むが、ボルボ・カー販売店やアウトデュー販売店など新車販売事業、損害保険会社と連携した自動車保険事業の収益貢献はこれから、期初計画は最低ラインとみられる。

信用倍率0・65倍、貸借倍率0・03倍の好需給も株価を押し上げ、青空相場を一段高へ進みそうだ。(さ)

### 新車販売や保険も収益貢献

※チャートは日足

# 戻りの動き更に強まる

## 高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

### 株式市場新聞の名物コーナーが復活!



**高野恭壽(たかのやすひさ)氏** 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

1月第4週の東京市場を見る限り予想外に底堅い印象を受けています。23日や24日の動きを見ていると売りの後は戻り一巡の後は戻す動きに転じ、一時はプラスにまで戻す場面がありました。筆者はもともと今回の下落はそれほど大きくないかとみて、下値は日経平均で2万3000円程度とみていました。

それは外的な懸念材料が昨年よりも好転に向かつているために下落幅は小さいとみていたのです。それにしても2万5000円割れでもおかしくなかったのですが、

## 予想より業績は悪くない

理が進まないと考えた必要がでてきたといえるでしょう。恐らく、昨年に大量売りを実行した外国人が日本経済の安定度に注目して買い戻しの動きが開始されたことが背景にあるのではないかと、と思われま。月末に3月決算の第3四半期の企業業績が発表されます。大方の予想よりも業績は悪くない見通しにあり買戻し始めたのではないかとみられます。

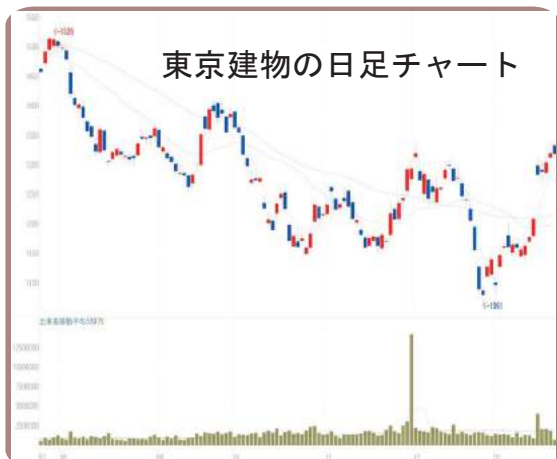
日経平均は内需が売られると外需買い、外需が売られると内需買いというように全面安にならない状況が続いていますので、筆者が予想した下値のメド2万3000円に至らずに月末まで推移し、月替わりから戻りの動きが更に強まっていくものと思われま。したがって、買われて上げていく外需系は避けて、反落している内需系の中から拾う作戦が有効ではないかと思われま。

外需系はスズキ(7269)などを勧めています。24日には戻り高値を更新したとたんに戻り待ちの売りが大量にでて大

それも一時的で収まったことは月末に向けて整理基調が続いても筆者が予想するところまで整

大きく反落して始まりました。しかし、一気に戻して逆にプラスで引けたことはこの銘柄の強さを示したことになります。同様にホンダ(76267)もしかしかりしてしまいました。内需ではゼネコンを引き続き注目です。東京建物(8804)も引き続き要注目です。証券株ではSBIホールディングス(8473)なども新たに注目できそうです。アンジェス(4563)は高値もみ合いのゾーンを抜けてきました。

思い切った追って買い加買するのを勧めます。



高野恭壽公式ホームページ  
高野恭壽の株式市場情報  
「これでどや!!」  
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>  
毎日情報を配信中!



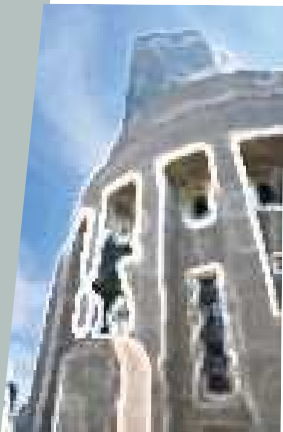
# 星野三太郎の 株街往来

～良いところ取り  
はできない～

予想さ

予想さ  
れていたこととはいえ、英国とEUの離脱合意案が15日に歴史的な大差で否決された。マーケットは合意なき離脱への懸念を深めていたが、その後国内外の株式市場は予想外に落ち着いてきた。解決への糸口は見えないものの、英国、EUともに合意なき離脱を望んでいないし、2回目の国民投票が実現すればEUからの離脱撤回の可能性があることが、投資家を冷静にさせている背景だと思ふ。

島国で飛行機か船でないと他国に移動できない日本と異なり、EUでは国境が無いから移動は自由だ。筆者は十年以上前に、半年ほどオランダからベルギー、フランスへと旅をしたことがあったが、徒歩でも検問無しに隣国に移動できるのだから、ビジネスをする方や旅人にはこれほどまでに便利なことはない。ただ、住民にとってみれば、犯罪者も気軽に移動してくるから、安心して生活できないなどの不満が生まれる。自由に移動できず安全・安心も保証されるなんていう良いところ取りはできない。だからこの数年散々採めたことが数週間で解決できないだろう。英国はどこまで妥協できるかをマーケットは引き続き注視している。



## 企業レター

### 不慣れな人も作業簡単

#### クボタ

#### GPS直進アシスト機能付きトラクタ



ファームパイロット  
シリーズ「NB21GS」

クボタ(6326)はハングルの自動制御で不慣れな人でもまっすぐに作業が可能なGPS農機ファームパイロット

トシリーズ「NB21GS」を発売する。コンパクトなサイズと簡単操作で野菜を作る担い手層や小規模水田農家の省力化や軽労化に貢献する。これまでのGPS農機のラインナップは主に担い手向けの大型機種が主体だったが、今回、初めて小型の機械にGPSによる直進アシスト機能を搭載。直進精度が必要な作業では熟練者がハンドル操作に集中して作業を行うが「NB21GS」ではハンドル自動制御により機械の操作に不慣れな人でも簡単に楽にまっすぐに作業することができる。

## アズワン

### 細胞培養士認定講習

#### 国際戦略拠点殿町SRラボで

アズワン(7476)は2月から、日本組織培養学会主催の細胞培養認定制度「細胞培養基盤技術コース」のコースIを、同社のライフサイエンス機器での受託ラボである殿町ソリューションリサーチラボで開催する。

殿町ソリューションリサーチラボが位置するライフイノベーションセンターは、殿町国際戦略拠点キングスカイフロントに位置しており、周辺にライ

と輩出の一端を担っていく。

細胞培養士認定制度は、学会員が細胞培養基盤技術コースIⅡⅢを順次受講し修了することで、細胞培養士の資格を学会認定で授与するもの。2012年の設立以降、これまでに65名が細胞培養士に認定されている。コースIでは、細胞培養の基本を理解し、細胞株を適切な方法で培養するための座学・実習が行われる。

フサイエンス関連企業が集積し、再生医療の中心となっている。同ラボで日本組織培養学会の細胞培養基盤技術コースに必要な設備等を提供し、人材の育成

日経225先物日足チャート



敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

悪材料に強くなった相場

どちらかに抜ける公算高い

先週の日経平均は結局週足で陽線、前週比約110円のプラスとなった。戻り相場が続く中、節目で調整を入れるが崩れない底堅い展開である。日経平均の動きよりもマザーズなど小型株の物色意欲は高く相場の雰囲気は悪くない。

中国の新車販売台数が2年ぶりに前年を割れるとか、中国の景気減速を示す指数がでも悪材料には反応が薄く、金曜日には英国のEU離脱代替案が可決される見通しと伝わると、寄り付き以降底堅い展開となっていた。今週の相場を見る限り、米中貿易摩擦による経済への影響はかなり実体が経済にマイナスではあるが、相場は織り込んでいたという動きであった。

戻り相場を形成している間は「売り」を仕掛ける投資家は少なく、逆に安定的な戻りによつて買戻しで上昇しているのが先週の相場である。実際、空売り比率も先々週末47%台であったが先週末は4%台に低下した。今週は引き続き上昇の動きが強い。

率も先々週末47%台であったが先週末は4%台に低下した。今週は引き続き上昇の動きが強い。

今週のスケジュール

- 25日 独Ifc景況感指数(18:00)  
米12月新築住宅販売件数(26日0:00)
- 28日 12月19・20日開催の日銀金融政策決定会合議事要旨
- 29日 FOMC(~30日)  
米1月CB消費者信頼感指数(30日0:00)  
トランプ米大統領一般教書演説
- 30日 12月商業販売統計(8:50)  
1月消費者動向調査(14:00)  
米1月ADP雇用統計(22:15)/米10-12月期GDP(22:30)  
米中閣僚級の貿易協議(~31日ワシントン)
- 31日 12月鉱工業生産(8:50)  
1月22・23日開催の日銀金融政策決定会合の「主な意見」  
ユーロ圏10-12月期GDP(19:00)
- 1日 12月労働力調査・有効求人倍率(8:30)  
米1月雇用統計(22:30)  
米1月ISM製造業景況指数(2日0:00)

よう。今週から決算発表が本格化するが、日本電産のように下方修正を織り込めるかが焦点となる。チャートの終盤を迎える。下値は切り上がって抵抗ラインの2万3000円。上値は逆に切り下がっている2万1300円処。ボリンジャーバンドもバンド自体が収斂してきており、どちらかに抜けてくる公算は高い。上昇のレンジは幅は約400円程度であるため、短期的には2万1000円処では一旦売り、2万7000円、その下2万3000円台では買いと短期で勝負したい。(ハチロク)

編集後記

豊臣秀吉が禁止したフグ食が解禁されて130年、養殖の普及で安くフグを食べられるようになったが、フグ好きにはさらに朗報が伝わってきた。海のない滋賀県で琵琶湖の水を使ったフグの養殖が実験から実用化の段階へ。ミネラルを含んだ塩分とバクテリアを混ぜることで、水質を保ちコストを大幅に低減、近く出荷を開始するほか、養殖技術も販売するという。フグ相場は下落するだろうが、伸び悩む消費には歯止めがかかるかもしれない。東京市場は実力ある企業の株価がまだ安値圏にある。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被りたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。